

第 23 回ガス事業制度検討ワーキンググループへの質問と意見

2022 年 8 月 22 日

二村 睦子（日本生活協同組合連合会）

1. 事業者間での LNG の融通について

質問と意見が 2 つあります。1 点目は、前回大石委員から質問がありましたが、この調整をどのような枠組みで行うのかをしていくのか、経産省が間に入る形かと思いますが、その上で協議会のような形態をとるのかどうか。透明性の観点からは、何等か形を作っていただき、記録が残るようにしていただくべきと考えます。2 点目は、ある事業者から他の事業者に通ずる場合、売り渡しということになると思いますが、その際の値付けの考え方やルールは何か想定があるのかどうか。こちらも透明性や予見性という点から、何らかのルールがある方が良いのではないかと考えます。

2. デマンドレスポンスについて

ここでは安定供給のため、といういわば守りの側面からでてきている施策ですが、電気の例などを見ても、新しい技術の開発・導入・普及がより効率的なエネルギーの利用を促したり、新しいビジネスの創出につながったりすることも予想される場所です。事業者の方々にはそうした側面も視野に入れて、積極的な検討をお願いしたいと思います。

3. ガス使用節約の情報提供について

こうした情報をとらえて、怪しい方法での節ガスや省エネを売り込むようなビジネスが発生しないとも限りません。特にガスの場合は安全性に問題があるような節ガス方法や機器などが出回ると非常に危険です。消費者自身もちろん注意する必要がありますが、製品安全の部局や消費者庁・国民生活センター等とも連携して監視と啓発をしっかりと行っていただきたいと思ひます。

以上